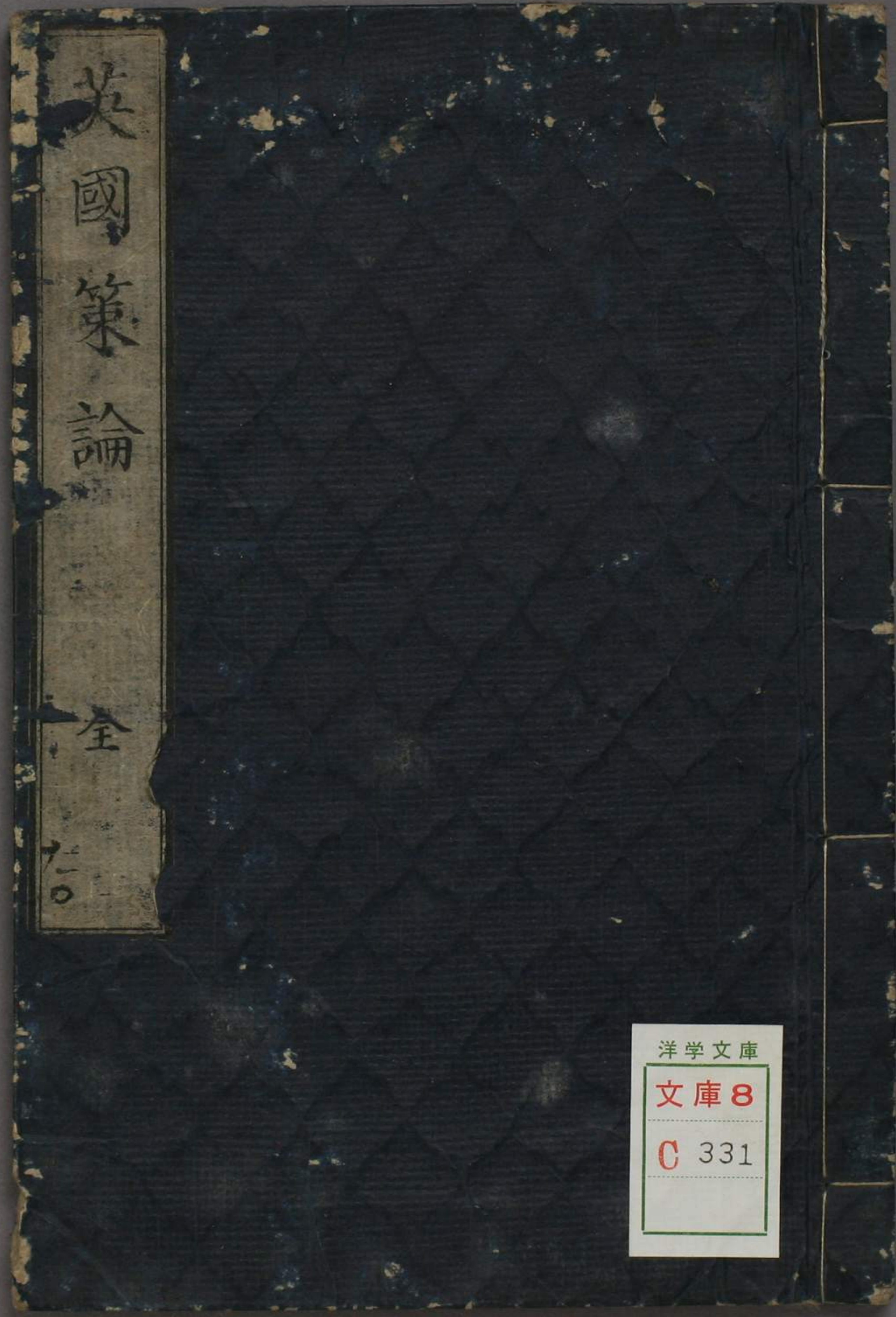




英國策論全

41 7127

策論

英國士官ストウ著

橫濱港ニアル軍艦ノ旭丸ノ旗ヲ立ツハ外
國共ノ常ニ見ル所也而四五日以前ヨリ中
播ノ上ニ獨立大名ノ旗號ヲ見テハ意必シ
ク激セサル能ハサル也薩州ノ船一艘數ヶ
月以前箱館ヲ發シ日本西北海ニテ佐渡隱
岐二嶋邊ヲ測量シ夫ヨリ當港工來著シ其
艦長條約面第十四ヶ條ノ規定通り續來リ

日本產物ヲ外國商人へ賣拂事ヲ願へり然
ルニ當港官吏共船長及水夫等ノ上陸及賣
拂等一切許容セス此時外國商人共當港ノ
官吏我々ニ商賣ヲ妨害セル事ヲ我有司訴
出ル凡有司取合難シ何ントナレハ青表紙
ニ載ル如ク開港初年以來帶刀人共外國人
共ヲ視ル仇敵ノ如クニ亂妨セラレシニ我
有司ヨリ
大君政府ヲシテ諸候ノ家
來ハ一切此地ニ入サラレハル也

青表紙トハ日本ニ不限都テ外國へ出勤
ノ有司ヨリ年々一度本國政府へ奏聞セ
事ヲ其政府ヨリ卯行セシモノ也
是故ニ今我有司ヨリ諸候ノ家來ト賣買致
度ハ言難シ且我有司カ我々商賣ヲ妨害ス
ト言テコレヲ罪スル事得ヘカラス是固ヨ
リ我々ノ爲メニ患難ナキヨウニ謀ルニヨ
レハナリ大君ハ日本一統ノ君主タルヨウ
ニ最初條約ノ節ニ云シナレハ彼ハ只諸候

ノ長ニテ僅ニ日本半國ホト而已領ルカナ
ルニ自ラ日本國主ト唱ヘシ是名分不正ニ
シテ僭偽ナク數多ノ國郡ヲ領シタル獨立
ノ諸候共開港ヲ好マサルニ非レ氏彼等ニ
一切評議セス彼共今其條約ヲ承諾セサル
ハ恠ムニ足ラサルナリ是ニ由テ諸候ハ大
君及外國人ヘ對シ自然ニ何カ仇セント思
フニ至ル諸候ノ家來ハ一切此地ニ入レサ
ル也然ルニ諸候共稍々外國交易ヲ致サン

ト武器買入ヲ始ム常ニ政府官吏ノ立合ニ
テ賣買ヲ爲ス且武器ヲ買フ而已ニナラス自
分領内ノ產物ホヲ賣ント欲シ且武器ノ償
金ト交易セント欲リシナリ此官吏立
合ハ監司ヲ付ル如キ者ニシテ其煩多面倒
ナルモノ也然ルニ條約面第十四ニアル通
リ武器ハ大君政府ノミ買入レル規定ナレ
ハ此官吏ヲシテ監セシムル事宜ナリ且最
初諸候ノ家來ヲ此地ヘ入サルヨウニ賴ミ

レハ我國人故ニ今度薩摩艦ノ一件ヲ咎ム
ルヲ能ハス今諸侯共ト我大商人ト取組常
商人ノ商賣ヲ出來ヌヤリニシテ買スルヲ
論ヲ侍ス然ルニ彼等ノ交易ヲスル事ナラ
ヌ双方商賣ノ出來候ヨフニ配慮スヘシ只
今マテ仇敵ノ如クナリシ大名共漸々外國
ノ交易ヲ好ミ且自分領内ノ港ヲ港ヲ開キ
タト思フヲ明ニ見ユル也然ラハ彼等ノ港
ヲ開トモ二十家ニ近キ獨立諸侯ノ領内ニ

盡クニ及ハス唯一二ノ最交易ニ便ナル場
所ヲ見立開カハ足レリ然シ日本諸侯一致
セスシテ只獨大君ト而已條約ヲ維持セ
ト欲スル能ハサル也今諸侯共ハ大
君ノ令ヲ遵奉セヌ又交易ノ利潤ヲモ得唯
條約ハ大君ト結シ其條約ヲ妨クルヲ決シ
テ相成ラスト云テ手ヲ束テ傍觀シ居ルコ
ウニ見ヘタリ願ハ我等赤心ヲ以テ改革ヲ
評議セン其故ハ我々唯條約ヲ一箇ノ諸侯

ト結フ事ヲ好マス日本全國ノ償金ヲ謀リ
度モノ也今我レ大君ハ日本ノ君主ト言シ
偽ヲ知レリ其故ハ外ニモ彼ト權勢ノ同キ
者數多アルヲ以テ也然ハ唯今ノ條約ニ新
ニ諸侯ト條約改革セン左ラハ只諸侯共喜
フ而已ナラス又交易ノ利潤ヲ得ルニ由テ
大君ノ譜代諸侯ニ至ル迄困窮セシ苦ヲ免
ルヘシ我々已ニ大君ト條約ヲ結ヒタルハ
今此ニ改革ニ及フトモ強子ニ日本ノ君主

タルヨフニ偽リシ大君ヲ廢スルト言臣國
家ノ顛覆ニハ至ラサルナリ其故ハ近來大
君ノ所業ヲ以テ見レハ天子ノ勅許ヲ得ス
シテ諸侯モ承諾セス條約ヲ取行フ事能ハ
サルハ明白ナリ是ヲ以テ海外人ハ天子ハ
日本ノ君主ト思フ事理ナキニアラス然レ
モ只天子ト而已條約ヲ結フハ利アラント
思フ事不可ナリ又天子一人其威權ヲ專ラ
ニ行スル能ハサルハ天子ト而已ノ條約ハ

又無益ナルニ疑ナシ兵庫開港期限今ヨリ
千八百六十八年一月一日迄ニハ諸候共ニ
是迄ノ條約面ニ於テ不都合ニアリシ條々
ヲ吟味シ又孰レノ港ヲ開クヘキヤ我々ト
日本入トノ交際ヲシテ堅固ニ安堵セシム
ヘキヲ商議スルニ其時日足ラサルニ非ル
也此開港ノ期限迄ニ一ツノ極ノ極當所置
ナクテハ我々無事ニ彼港ニ居住スル事覺
束ナシ我々其危急ヲ防カントナラハ大君

同様ニ一國ノ權威ヲ專ラニスル諸侯共ト
評議シテ可ナリ右事件ヲ施行スルハ獨日
本ノ爲ノミナラス我々ト日本トノ交易ヲ
慥ニ繁昌セシムル一端ト思フニ由テ此段
已ニ日本トノ條約濟ノ各國公使ニ告知ラ
セシムル者ナリ我等是マテノ條約ヲ取除
キ今度新ニ日本諸候一致シタル條約ヲ取
結フヘキヲ四五年以前新聞紙ニ出板セシ
如ク同意ノ者モ少カラス我等歡喜ニ堪サ

ル也此議論ノ發端ハ此事ヲ引續キ取行フ
ヘキ才カラアル者ヨリ自然我々等ナシテ
此説ヲ起スヘク感シ成ラシメシ也其入ト
云ハ外國人而已ナラス日本憂國有識ノ者
凡也彼亦ハ千八百五十八年アメリカ定約
以來始終是ホノ事ヲ企シト見ヘルナリ日
本史學家ノ著述ニアルコトク往古ハ大君
ノ威權全ク強カリシ然シ各國ニ偶有シ如
ク僭偽者天子ヲ弑シテ國權ヲ掌握セシ如

キニハ非ルナリ王權ノ衰微セシハ藤原氏
ヨリ始レリ此藤原氏ハ數年ノ間常ニ已レ
刀女子ヲ天子ノ皇后ニ納レ已カ外子外孫
ノミ天子ノ位ニ即ケ已威權ヲ極メ私利ヲ
營ミシモノ也終ニ政柄盡ク彼ノ掌中ニ委
任シ天子ハ只歌詠絲竹其他ノ遊樂而已ニ
日夜ヲ送レリ藤原氏ノ勢道長賴道ニ至リ
尤盛ナリシ後二三條帝王權ヲ匡復セント
欲セシ所在位僅ニシテ崩御セリ即千西洋

千六十九年ヨリ七十二年頃也其後源賴朝
平氏ヲ亡シ霸業ヲ創立セリ是武家國權ヲ
取シ始ナリ當時ノ德川氏ヲシテ賴朝ノ如
ク權威アラシメハ我々又彼ト條約ヲ結フ
ニ足レリ然シ假令我々此僭僞者ラ威權ヲ
持續ク間ハ交接スヘキモ若彼ト肩ヲ比ヘ
抗抵スルモノ起ルトキハ我々イカンカ所
スヘキヤ知ラズ長崎ノミニ客居メ日本國
體ヲ詳知ラサリシ^カシヘル^蘭日本ノ事跡

ヲ筆記セルモノニ日本ニ王アリト云
ヒ來レリ其一人ハ國家ヲ支配スル天子他
ノ一人ハ教主ノ如キモノニ^メ國家ノ政事
ニ關係セサル天子ナリト言然ルニ外國和
親通商ヲ願シ時是尤重大ノ事件ニテ帝モ
諸侯モ評論シ諸侯モ帝ノ意ニ隨フヘク^ル
リシ所大君ヲ外國ヨリ及合ヲ催サレ止事
得ス已レ一箇ノ^ノ間ヲ以テ條約書ニ調印
セリ是城門ヲ開キテ敵ヲ入シメシカ如シ

外國人ハ此條約ニ永續スヘキ君主ト和親
ヲ結ビシト信用シテ交易ヲ始メシ也以來
我々天幸ニテ安逸ニ起ルル事ヲ得タリ
大君天子ノ命ヲ以テ上洛セシメラレシヨ
リ其威權大挫ケリ是天子へ數年ノ間恭敬
ヲ盡サス已ニ要政ヲ行フ報ト知ルヘシ又
彼ノ大君威權彼ノ親戚ヨリ輕蔑シ來リ
大金ヲ費シ人力ヲ尽シテ一ツノ叛者ヲ云
ヲ制スル事能ハス僅ニ已レト睦シキ大名

ノ手ヲ仮リ平多ルヲ得タリ長州ニ付テ
ハ一ヶ年以來叛者ノ首級ヲ持歸ルヘシト
高ラカニ罵テ江戸ヨリ軍勢ヲ差出セリ大
君ノ所置中途ニ於テ京師ニ於テ妨ラレシ
モ非ス無擾第一ノ官人ヲ長州へ遣ハシ只
虛名ニテ從服セシメ和睦セント謀リシハ
尤大君ノ大ナル耻辱ニ非ヤ今誰ニテモ大
君ハ日本ノ主宰ト云者ハアラサルナリ已
レニ服従スヘキ者 制御スル事能ハサル

時ハ彼等ニ及外國人共最早大君ヲ日本ノ
宰ト敬憚スルモノ非ルナリ外國政府ニ於
テ大君ト條約ヲ結ヒシハ大ナル誤ナリ
四ヶ年以前發起セシ事件ヲ以テミルヘシ
千八百六十三年九月ノ切害ハ現在大君政
府ニ知ナカラ彼等主人ノ威力ヲ以テ刑罰
スルヲ免レリ故ニ此條約ハ國家ヲ制御ス
ルヲ能ハサル者ト結ヒシト言事鹿兒嶋一
舉ハ彼レ我々ニ向ヒ妄動スル罪ヲ代ニ爲

新干戈ヲ動カセシナリ此頃ヨリ諸侯ハ各
已レカ領分ヲ獨立ニ支配シ已レノ志意ニ
任セ舉動スルヲ明ナリ我等長州ト和睦ヲ
結ヒシ時其全權士官ヨリ大君攘夷令承遣
セシ慥ナル證據ヲ差出サシム上ハ我々江
戸官吏ヲ詰問スル好キ機會ナリ此時本國
ノ公使シヤトルアルロツクラ呼歸サハ我
々ノ論スル條約ヲ編ム我々人民ト日本人民
ノ堅固ナル基礎ノ上ニ休マシメンニ惜ム

ヘキ事ニアラスヤ我々此事伴ヲ行フハ末
タ好機會ニイタラス然レモ我貴キ使節ノ
力ヲ以テ直チニトケ得ル丁疑ナシ又我々
ノ説ノ如ク我々日本人民ト交易ヲ盛ニセ
ラクルコトヲ待願フ事ナリ吾等近來大君ト
ムスヒシ條約ヲ廢シ新ニ 帝ニ及一
致シタル諸侯ト取結フヘキヲ論シ來レリ
然レモ今迄其大略ヲ著演セリ今又爰ニ辨
明スヘシ此說話ハ舊法ヲ改革セルトモ交易

ナラサル非常過激ノ論也故ニ此事ヲ好ム
モノヲシテ我興起スルガノ範圍ニ入ラシ
ムル事緊要ナリ今迄說來リシ形勢其他新
々ニ論セントスル者ハ僅尺寸ノ紙ニ上セ
難シ今度我々ノ主意ハ以前ヨリ猶安シク
説明シテ大君ノ條約書ニ調印セシ事ノ全
理ニ背キ且彼我條約ヲ持守スルニ不可堪
事及條約交易規則等全備ラサル事ヲ明白
ニ顯シテ我々今論スル事理ナキニ非ルヲ

示サンカ為ナリ日本政事ニ及文學ノ外國
ノ書生共日本ニ大君ノ名ハニツナシ其名
ヲ持得ルモノハ只 帝一人ノミト思

フ我クヲ咎ムヘキカモシラスシヤウクシ
ト云語ハ英吉利語ニテ譯スルモカタカニ
ナルニ將軍ハ外國有司共ト結ヒシ條約ニ
已ノ本官ヨリ尊貴ナル大君ノ號ヲ以テ調
印セリカレ此名ヲ称スル事決メ其理ニア
ラス畢竟此條約ヲ持守シテハ西洋各國ノ

成立スル事證セリ江戸ノ君主此名ヲ調印
セラレシハ莫大ナル僭偽ニシテ見ルモノ
愚弄メ信ヒサル事知ルヘシ外國有司共何
卒此國ト和親スヘキヲ願ヒ將軍ヲ眞ニ大
執權家ト全信セシナリ然レモ是ヲ以テ外
國有司共ニ罪ヲ歸スルヲ得ヘカラス畢竟
カ天子ト僭シ尊貴ナル號ヲ專稱スルヲ知
ラスシテ彼ニ欺カレシ事唯深ク自ラ悔ル
ノミ此事實ハ將軍眞ニ國君タルヤウニ僭

偽シ居レ氏外國有司共ニ於テハ終始相誓
ラサルナリ則モエルケンノ條約筆記ヲ以
テ知ルヘシ使節トケン開港ノ初義今我ニケ
様ノ事實ヲ持ル居テ以テ條約改革ノ事ヲ
我々ノ公使ニ責ルヘシ下關ノコノ時將軍
ノ偽作ヲ論スヘキ好機會ナリト雖モ其事
ヲ果サスアリキ我々ノ有司ニ所ス其コノ
證跡ヲ示スヘシ又此一事ヲ中途ニ廢ス
ベカラズ是等ノ大名カ全國ノ天子

ト而已稱スヘキ陛下ノ尊號ヲ稱スルニ至
テハ吾々理ヲ以テ論セサルヲ得スロー
トエルケン筆記ニ因テ見ヘシ若德川陛下
タルトキハ帝ハ如何ナル者ゾヤ是
帝ハ則日本第一等ノ教主ナルカ而テ
此帝ノ是追免サハリシ條約ヲ去年
終ニ勅許ヲ得ラレシハ是又吾公使
ノ成功ト云ヘシ將軍ハ日本人ヨリ常ニ殿
下ト呼レシニ彼レ自ラ殿下ヨリ上ノ稱號

呼用ユル事決シテ不當ナリ今爰二條約書
面ノ誹謗ヲ著ス事左ノ如シ大貌利太尼亞
及意爾 蘭土皇帝陛下日本大君陛下二國
ノ臣民ヨシテ永ク天子タル事顯然タリ
令大君ノ名目ハ條約書ニ載セシト云凡日
本語ニテ日本人常ニ彼國又ハ彼ノ國領分
一呼來レリ此意條約書中之意ト大ニ相違
セリ今文章中ノ誤ヲ改ムル事左ノ如シ大
貌太尼亞意爾蘭土帝陛下將軍殿下双々領

分ノ臣ヲメ和親スヘキヲ希ツト言ニ是日
本一統ノ天子ハ條約ヲ結ヒシニ非
ス只江戸關八州并諸郡大日本ニテ區々々
ル一方ノ地ヲ領シタル君主トナリ抑仙臺
薩摩及他ノ大諸侯ト稱スル者ハ其如何ナ
ル説ヲ立ヘキヤ我未タ知ラサル也其等今
又條約面ヲ詰難ス第四條ニ言日本大君陛
下領分ニアル貌利太尼亞臣民中ニテ身上
又ハ持場ニ付萬事出來スル事ハ悉クナリ

タニヤ有司裁斷スヘシ此條大君述來ル通
尤好シ然シ凡他ノ領分ナル時ハ如何セン
譬ハ或ハフリタニヤ人民尾張領分ニ行
平尾張候ノ爲ニ斬首セラレ或ハフリタ
ニヤ水夫不幸ニメ肥前ノ海岸ニ破船シ肥
前領ニ漂流セシ時肥前候ノ爲ニ無殘ナリ
死ニ所セラレ彼等ノ骨ヲ西洋奇物トシテ
寶庫ニ納メラル、等ノ出來セシ時ノ所置
行ヒカタシ第五條ニ云ニ日本人フリタ

ニヤニ對シ惡事ヲナス者ハ日本官吏召捕
日本ノ法ニ從テ罪ヘシ雙方偏頗ナク公平
ノ裁許アルハシ其以來日本人フリタニ
ヤ人民ニ對シ咎人出來セシ時此ヶ條ヲ以
テ罪ニ行フヲ論セリ然レモ諸侯ノ家來
ニ向テ此ヶ條ハ死物トノ實ニ行ハレシコ
ナリ則薩摩長州ノ事ニ就テ知ルヘシ第六
ヶ條ニ云フリタニヤ臣民日本人ニ對シ
訟フヘキ事アラハヨシユルニ出其趣意

チ告ヘシ　コンシユル論議ノ上雙方遺憾
ナキ様所置スヘシ又日本人　フリタニヤ
人ニ對シ訟フヘキヲアラハ是又　コンシ
ユルシカタキ事アラハ日本官吏立合俱ニ
其事ヲ吟味シ當然ノ裁斷ヲナスヘシ此條
立合裁許ノ事正シク規定ヲ立施行スル時
ハ尤好キ法ナリ此條二月テ書記スルヲ多
シ然レ氏此條獨行レサル通り尤大切ナハ
テ條ト云リ知ルヘシ我カ　コンシユル内

外人氏双方遺憾ナキヤウ所置スヘシ又ハ
日本官吏ヲ呼ヒ其論議スヘキ所訴訟人ヲ
選上所ヘツカハシ日本官吏ニ任セシ二月
本官吏其理曲直ヲ正シテ公平ノ裁斷セシ
事未嘗有也七ク條通借人返濟ノ急リヲ防
グ丁氣毒也日本國人ニシヤ多ク財第八ク
條　フリタニヤ人民日本人ヲ雇ヒ當然ノ
用ニ充ル日本政府ヨリ妨ナカルヘシユ
ノ條ニ付屬應接アリ且時々日々此事アリ

江戸執政ヨリコノ條約ヲ破リシニシテ則
僭偽ヲ含ミシ事知ルヘシ第十二條難破
船ノ水史ヲ貌ニ扶助シトリ扱フ一将軍
ノ領分ノミニメ他候領ノ海岸ニテハ一向
扶助セスト云フ江戸官吏承知シ居ルナリ
如何トナルハ江戸官吏トモ先年外國有司
共ヘ書寫ヲ以テ難破船ハ唯要用ノ時而已
開港近港ニオイテ其事アルヘシト通達シ
免ノ十四條交易ノ爲ニ開タル各港

ニオイテフリタニヤ人民何品ニテモ商
賣ノ品ヲ輸入シ又輸出スル事自由タルヘ
シ且ケヤウナル買賣ノ拂方等ノ節ハ一切
日本官吏立合ナカルヘシ此條交易規定ニ
於テ尤大切ナル部也開港以來常ニ此條破
レ來レリ此外條約ノ破レシ廉少ナカラズ
此死物ノ條約ニヨル時ハ我々ノ交易ハ跋
者ノコトシ我日本民交易淹滞ノ又彼等ノ
懇親ナル事得ヘカラス我公使共コノ條約

